

## 無事故無違反はみんなの願い

### 秋の交通安全運動レター作戦

薄衣小学校児童会は秋の交通安全運動期間に併せ、レター作戦を行いました。同校児童会の執行部と4～6年生の代表児童16人は9月22日の交通安全教室終了後、学校付近の国道284号で自動車の運転手さんに「いつも安全運転ありがとうございます。これからも安全運転に心がけて運転をお願いします」と手紙と手作りキーホルダーを手渡しました。

1～4年生は1通ずつ手紙を書き、5・6年生はプラスチック板を加工してキーホルダーを作成。思いがけないプレゼントに、ドライバーの皆さんはにこやかに受け取っていました。



「これからも安全運転をお願いします」

from SENMAI 千厩



上 披露した千厩小PTAコーラス  
の皆さん  
左 日野屋別邸庭園で琴演奏を奏  
しむ参加者

## 丹精込めた花壇で縁結び

### 花の縁めぐりのススめを開催

花めぐり勝手に応援する会(菅原良一郎会長)主催の「花の縁めぐりのススめ」は10月1日、千厩地域の第13区自治会ふれあい花壇と日野屋別邸で約430人が参加して開かれました。

同会は、手作りの花壇や庭園を通じて市内外の交流を促進しようと市の地域おこし事業をきっかけに結成。「花の縁めぐり通信」の発行などにより地域の花壇をPRし、交流人口の拡大と地域活性化を目的としています。

初イベントは、地域住民が丹精込めて作る花壇を巡る「バスツアー」や彩り豊かな花壇をステージにPTAコーラスグループによる合唱、日本庭園を背景に千厩高校の琴演奏や大東高校の鹿踊り、市長と同会会長の対談など、盛りだくさんの催しが繰り広げられました。

花壇で行われたコーラスでは、秋晴れの青空と風に揺れるかれんな花々に、清らかなハーモニーが奏でる情緒あふれる雰囲気を楽しんでいました。

松やモミジなどが美しく手入れされた日野屋別邸ではかがり火がたかれる中、大東高校鹿踊部が伝承芸能の行山流鹿踊りを雄壮に披露。そのほか千厩高校箏曲部が奏でる琴の音色と茶席でお点前を楽しむなど、参加者は優美な世界を堪能しました。

市長対談では、市長が話す夢と希望が持てる地域づくりと、その実現に向けたキーワードなどを熱心に聴講していました。



ゲストの増田明美さん夫妻も2キロ親子の部と一緒に走りました

## 子どもも大人も皆快走!

### 第17回花泉マラソン大会「瀬古杯」

第17回花泉マラソン大会「瀬古杯」は10月9日、花泉中学校を発着点に行われました。ゲストランナーに増田明美さん夫妻を迎え、大会には市内外から約900人が参加。4部門(2・3・5・10キロ)で健脚を競いました。

大会は午前10時、スターターを務める増田さんの号砲で2キロの部小学生男子からスタート。増田さんも2キロと5キロの部で参加者と一緒に走り、沿道からは盛んな声援が飛んでいました。走り終えた増田さんは「花泉は自然の環境に恵まれていて、気持ちよく走れました」と語っていました。

## 秋空の下健脚を披露

### 第49回室根一周駅伝競走大会

第49回室根一周駅伝競走大会(室根町体育協会主催)は10月1日、津谷川小学校からきらめきパークまでの7区間19.9キロの特設コースで行われ、中学生2チーム、一般6チームの計8チームが参加しました。

総合優勝は室根中A(1時間9分4秒)、一般では上折壁体育協会(1時間15分55秒)が6連覇を達成しました。1区の小松健太郎君(室根中A)、2区金森圭二君(同)、3区の佐藤達也君(同)・芳賀亘さん(津谷川体協)の4人が区間記録を更新しました。



優勝目指し勢よくスタートする選手たち

from MURONE 室根



参加者みんなで青柳文蔵について学びました

## みんなでふるさと学習

### 松川小で「青柳文蔵の願い」講演会

みちのく中央総合博物館市民会議(松川誠代表)が主催する「青柳文蔵の願い」講演会は9月12日、東北大学名誉教授の高橋富雄さんを講師に招き、松川小学校を会場に行われました。

松川で生まれた公開図書館の創始者、青柳文蔵がテーマの講演を、同小5・6年生50人のほか一般来場者約40人が聴講。高橋さんは「皆さんは青柳文蔵の精神を受け継ぐ先生の教え子。地域でもっと文蔵について勉強し、地域の宝としておくだけではなく、歴史上の人物を生かした地域づくりを行ってほしい」と話し、「青柳先生ありがとう」と記した文章を額に入れ、同小に寄贈しました。

from HIGASHIYAMA 東山

## みんなで守るわたしたちの森

### 一関地方育樹祭

新市合併で対象を両磐地域に拡大し初めて行われた18年度一関地方育樹祭は10月15日、萩荘地内の市有林で行われました。森林の果たす役割とその大切さを認識してもらおうと催されている同祭には市内の森林・自然愛護少年団8団体の児童をはじめ、両磐地区の関係団体から約150人が参加。それぞれがのこぎりを手に杉林に入り、間伐や枝打ちに汗を流しました。太さ12センチほどの杉の伐採に挑戦した興田小学校森林愛護少年団の熊谷春香さん(5年)は「今年少年団に入り、こういう大きな行事には初めて参加しました。ちょっと疲れたけど、木がちゃんと切れてよかった」とうれしそうに話しました。



杉が大きく育つよう、枝打ち作業に汗を流す参加者の皆さん

from ICHINGOSKI 一関



コミカルな動きで来場者を楽しませた人形劇

## 親子で人形劇など楽しむ

### 母親クラブ連絡協議会公演事業

大東町母親クラブ連絡協議会(村上さおり会長)の18年度公演事業は10月14日、室蓬ホールで催されました。今年は、東京都の「どんきい劇場」が影絵「ピビとボボの不思議な機械」と人形劇「おかしな犬の音楽会」を公演し、来場した親子は、不思議な影絵とコミカルな人形劇に見入っていました。

また、13日と14日の両日にはパペットワークショップが同所で行われ、参加した親子は、自分たちでパペット(手指で操る人形)を作り、楽しく会話を弾ませていました。

from DAIGO 大東